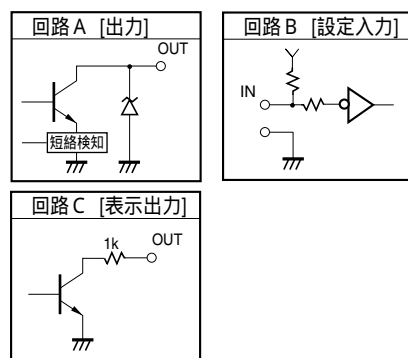
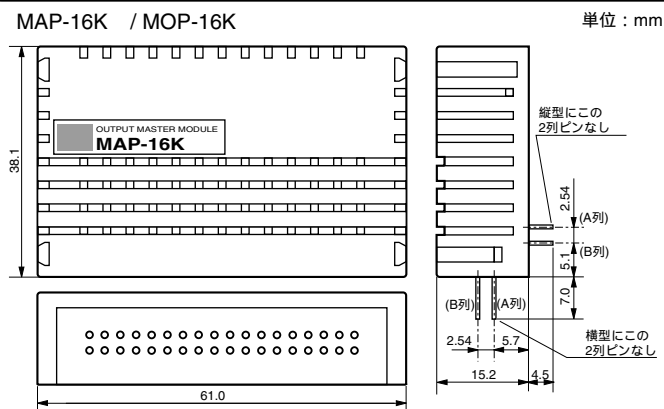


電気的特性

端子番号		端子名	名称	項目	単位	規格値			回路図
MAP-16K	MOP-16K					最小	基本	最大	
1	1	24V	電源端子	電源電圧	V	21.6	24.0	27.6	-
2	2	0V		最大消費電流	mA			50	
				出力電圧範囲	V	0	24	30	
9~16 21~28	9~16 21~28	OUT0~7 OUT8~15	出力端子	"L" 出力電圧 (残電圧)	V			1.0	回路 A
				"L" 出力電流 (負荷電流)	mA			200	
				過電流検知 (55ms経過)	mA		400		
30	5	R/H	出力選択	入力電圧しきい値 (ON)	V		0.4		回路 B
31~36	A2~A128	アドレス設定	(OFF)	V		4.0			
6	6	POW	(表示出力)	出力電圧範囲	V	0		50	回路 C
7	7	SEND		電源表示	"L" 出力電圧 (残電圧)	V		5.6	
			伝送表示	"L" 出力電流 (負荷電流)	mA			10	



外形寸法

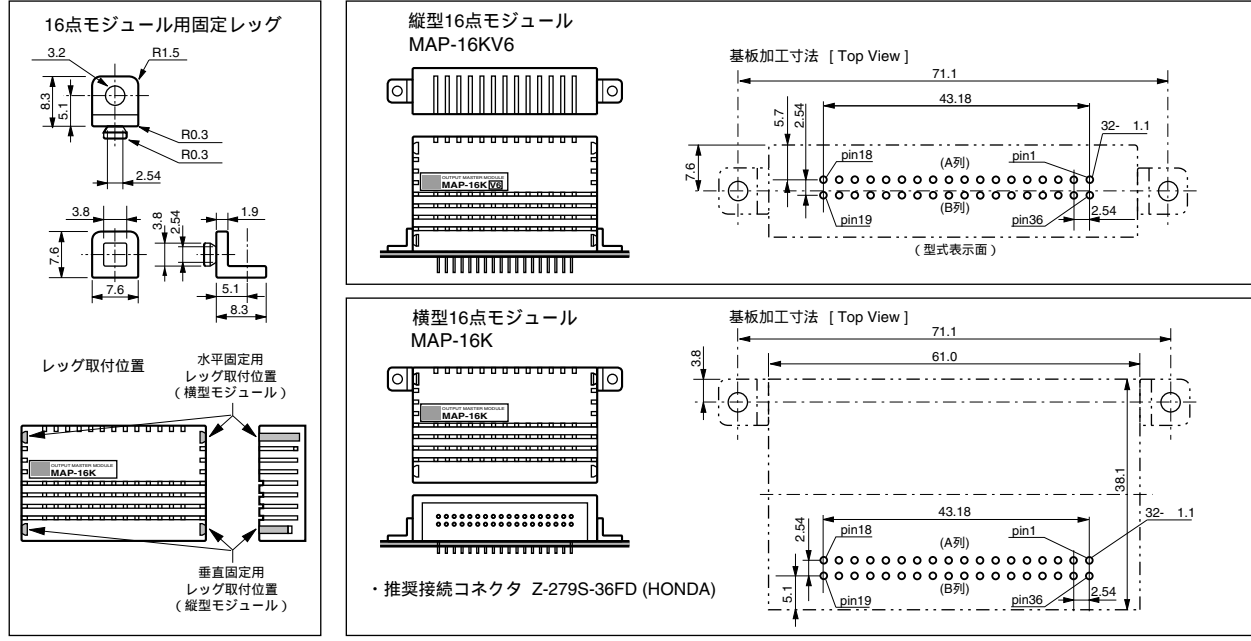


モジュール実装上の注意

はんだ付け
260 以下の温度、5秒以下の時間で行ってください。
洗浄
モジュールは密閉構造ではありません。
フラックス洗浄などの場合、強酸性や強アルカリ性の溶剤は使用しないでください。
リフローは行わないでください。
パターンの長さ
モジュール増設の場合、マスタモジュールから最遠のスレーブモジュールまでは、50cm以内としてください。伝送信号信頼性確保のため、伝送信号(UC,DI,DO)関連のパターン長さに注意してください。



16点モジュール固定方法 (固定レッグで基板上に固定してください。)



NKE株式会社

(旧社名 (株) 中村機器エンジニアリング)

本 社 工 場 〒617-0828 京都府長岡京市馬場図所27 TEL 075-955-0071(代) FAX 075-955-1063
 東 京 営 業 所 〒110-0016 東京都台東区台東 2 丁目12-2 (不二DICビル) TEL 03-3833-5330(代) FAX 03-3833-5350
 名 古 屋 営 業 所 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山 2 丁目13-22 (I TOHビル) TEL 052-322-3481(代) FAX 052-322-3483
 大 阪 営 業 所 〒550-0013 大阪市西区新町 1 丁目2-13 (新町ビル) TEL 06-6538-7136(代) FAX 06-6538-7138
 京 都 営 業 所 〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町366-1 TEL 075-924-3293(代) FAX 075-924-3290
 伏 見 工 場 〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町366-1 TEL 075-931-2731(代) FAX 075-934-8746

お断りなくこの資料の記載内容を変更することがありますのでご了承ください。
 © 2004 NKE Corporation

NO. UM234-D

NKE

UNILINE 取扱説明書

MAP-16K MOP-16K 出力モジュール

型式番号
 MAP-16KV6 : 16点出力モジュール (縦型)
 MAP-16K [マスタモジュール] (横型)
 MOP-16KV6 : 16点出力モジュール (縦型)
 MOP-16K [スレーブモジュール] (横型)

本システム機器をお買いあげいただきありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。
 また、システム全体の取扱いについてはテクニカルマニュアルをご参照ください。
 安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。

警告 システム安全性の考慮
 本システムは、一般産業用であり安全用機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。
 設置や交換作業の前には、必ずシステムの電源を切ってください。

注意 システム電源
 DC 24V 安定化電源を使ってください。
 非安定電源はシステムの誤動作の原因となります。
 高圧線、動力線との分離
 本システムは高いノイズマージンを有していますが、伝送ライン、入出力ケーブルは、高圧線や動力線から離してください。
 コネクタ接続、端子接続
 ・コネクタ内側には金属くずなどを入れないでください。
 ・コネクタがはずれないようケーブル長さなどに配慮してください。
 ・誤配線は機器に損傷を与えます。
 本システムは、下記資料に定められた仕様や条件の範囲内でご使用ください。

特 長

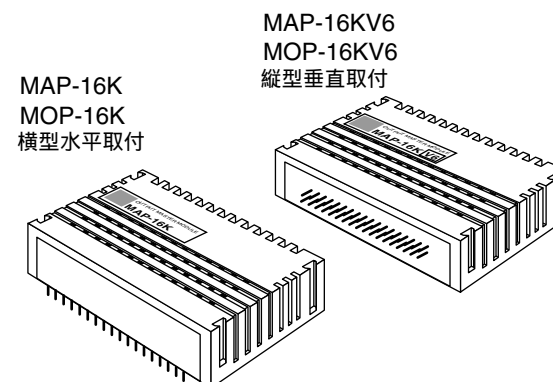
ユニラインは各社のPLCに簡単に接続できる省配線データ伝送システムです。
 本システムを小さな機能モジュールとしたハイブリッドIC (モジュール) はスペース効率、組み込みやすさなどに優れています。
 このモジュールはセンドユニットからの信号をパラレル信号に変換してNPNトランジスタ出力とする出力用モジュールです。
 基板実装タイプのコンパクトな形状で、16点の出力が可能です。
 電圧低下検知機能があり、また各出力には短絡保護機能が備わっています。
 縦型 (垂直取付) と横型 (水平取付) があります。
 MOP-16K はMAP-16K のスレーブとしてカスケード接続ができます。
 伝送異常時に対する出力保持 / リセットの選択が可能です。

仕 様

一般仕様	仕様
項目	仕様
電源電圧	DC 24V +15% -10%
使用周囲温度	0 ~ +50
保存温度	-20 ~ +70
使用周囲湿度	35 ~ 85%RH 結露なきこと
雰囲気	腐食性ガスがないこと
耐振動	JIS C 0040 に準拠
耐衝撃	100m/s ²
絶縁抵抗	外部端子と外箱間 20M 以上
耐電圧	外部端子と外箱間 AC 1000V 1分間
耐ノイズ	1200Vp-p (パルス幅1μs)

性能仕様	仕様
項目	仕様
伝送方式	双方向時分割多重伝送方式
同期方式	ビット同期方式
伝送手順	ユニライン・プロトコル
伝送速度	28.5kbps (基本)
伝送距離	最大200m (基本)
出力点数	16点
消費電力	最大1.5W

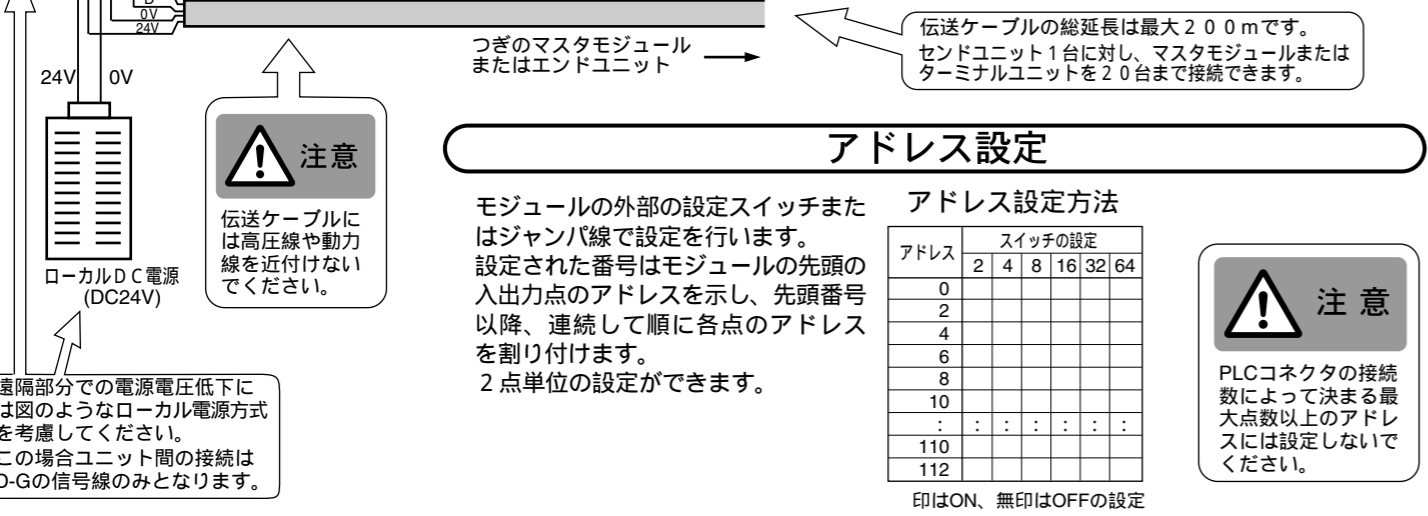
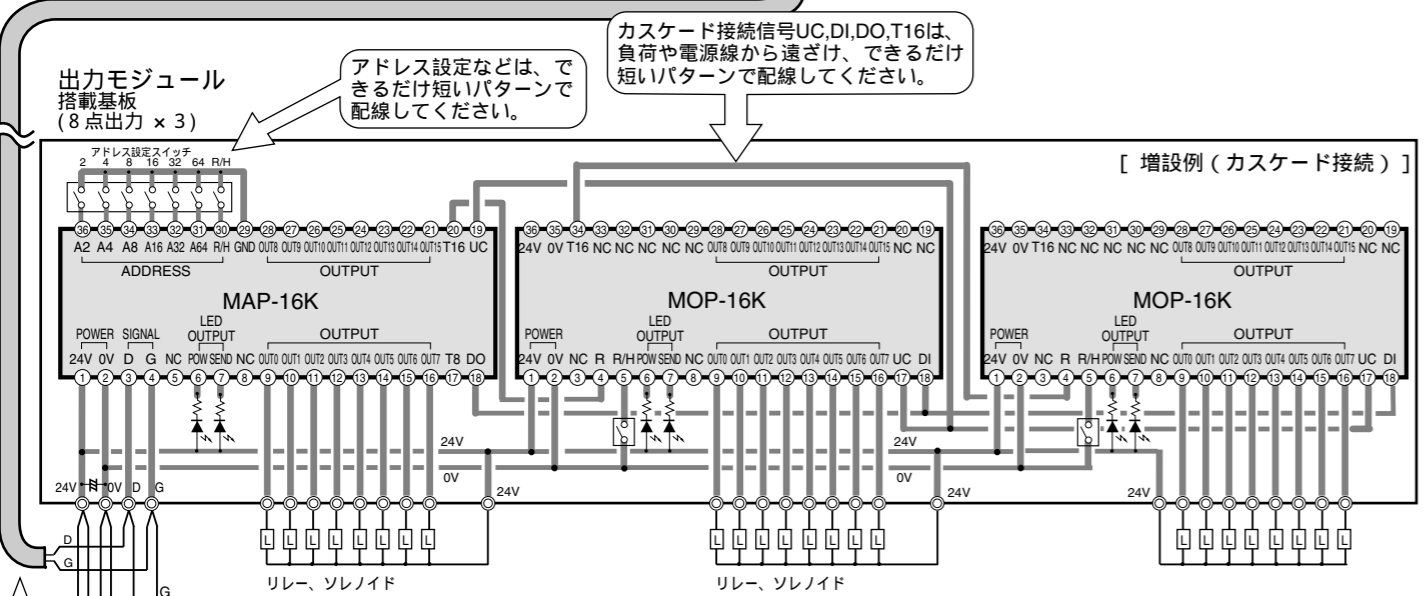
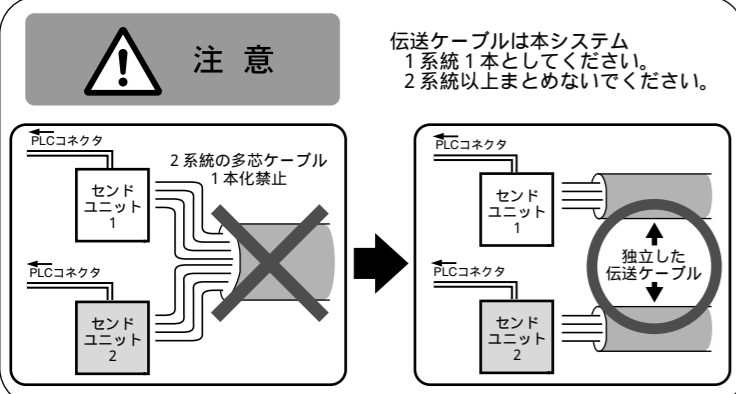
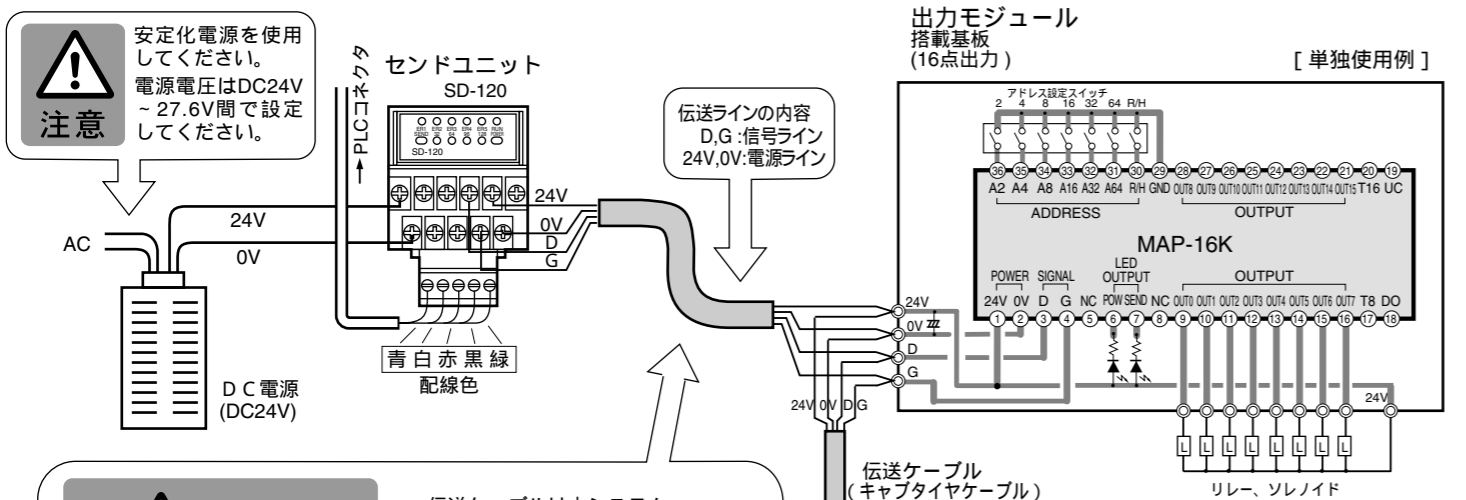
形 状



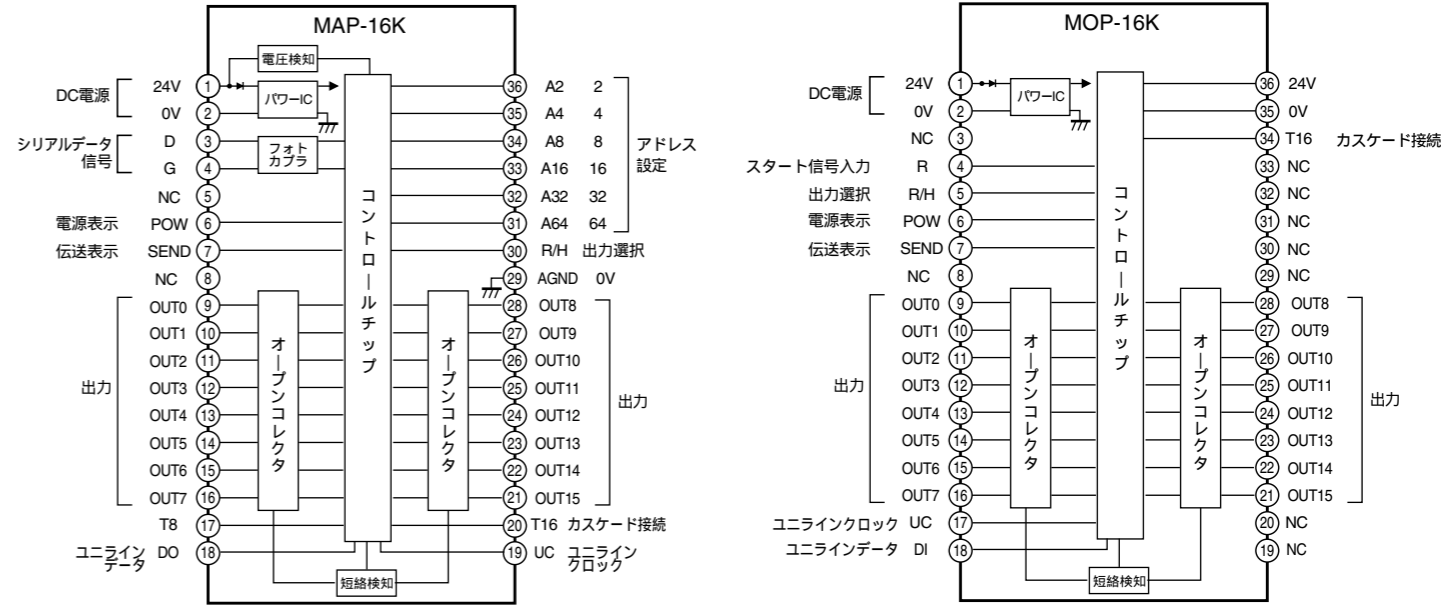
伝送遅れ		
点数	リフレッシュタイム	遅れ時間
32	1.4ms	1.6 ~ 3.1ms
64	2.6ms	2.7 ~ 5.3ms
96	3.7ms	3.9 ~ 7.6ms
128	4.8ms	5.0 ~ 9.8ms

注) 上記数値は伝送速度28.5kbps、SD-120に接続したとき

接続例



内部構成とピン配置



機能

出力マスタモジュール MAP-16K					出力スレーブモジュール MOP-16K				
端子番号	端子名	名称	機能	備考	端子番号	端子名	名称	機能	備考
1	24V	電源端子	DC24V電源入力	電圧低下検知機能 注1)	1,36	24V	電源端子	DC24V電源入力	
2	0V				2,35	0V			
3	D	シリアルデータ信号	伝送ライン接続		4	R	スタート信号入力	前段よりのスタート入力	
4	G				5	R/H	出力選択		注6)
6	POW	電源表示	LED表示出力	異常表示機能 注1,2)	6	POW	電源表示	LED表示出力	異常表示機能 注1,2)
7	SEND	伝送表示		異常表示機能 注3)	7	SEND	伝送表示		異常表示機能 注3)
9~16	OUT0~15	出力端子	オープンコレクタ出力	短絡検知機能 注2)	9~16	OUT0~15	出力端子	オープンコレクタ出力	短絡検知機能 注2)
21~28	OUT0~15	出力端子	オープンコレクタ出力		21~28	OUT0~15	出力端子	オープンコレクタ出力	
17,20	T8,T16	カスケード接続	スレーブモジュールへのスタート信号	通常T16を使用	17	UC	ユニラインロック	マスタモジュールよりのクロック入力	
18	DO	ユニラインデータ	スレーブモジュールへのデータ信号		18	DI	ユニラインデータ	マスタモジュールよりのデータ入力	
19	UC	ユニラインロック	スレーブモジュールへのクロック信号		34	T16	カスケード接続	次段へのスタート信号出力	
29	AGND	グラウンド	0V						
30	R/H	出力選択		注6)					
30~36	A2~A128	アドレス設定	モジュールアドレス設定	スイッチ、ジャンパなどで設定					

エラー表示

表示出力	表示状態	異常の内容
POW (電源表示)	点灯	正常
	点滅	短絡検知
	消灯	電圧低下検知
SEND (伝送表示)	点滅	正常
	消灯	伝送異常

注1) 電源電圧低下検知 (左記エラー表示参照)
DC24V電源電圧低下時、POW表示出力がフリッカ動作をします。(MOP-16Kには検知機能はありません。)

注2) 短絡検知 (左記エラー表示参照)
いずれかの出力に過電流が流れると前段8点単位で出力OFFとなりPOWがエラー出力します。

注3) 伝送監視 (左記エラー表示参照)
伝送信号異常時にSEND出力が表のような出力を行います。

注4) エラー表示を正常に復帰させるには、いったん電源を切り、エラーの原因を取り除いてから、再投入してください。

注5) 出力端子を電源と短絡したまま出力させると、短絡検知が働きます。

注6) 伝送異常時の出力選択
R/H端子の設定により伝送異常時に出力保持とリセットの選択が可能です。(オープンで出力保持、0V接続でリセット)

インターフェース回路

